

団体の活動の質的向上を目的に、東北風景街道協議会委員による現地指導と意見交換会を実施

- ・実施日：平成29年11月21日（火）
- ・参加委員：（株）東北地域環境研究室 代表 志賀 秀一 氏、
東京大学 アジア生物資源環境研究センター 教授 堀 繁 氏 計 2 名

①現地での指導内容

平成30年の戊辰戦争150周年にあたり、地域資源を県内外にどのように発信させるか等の課題解決のため、ルートの沿線にある歴史資源を中心に視察。視察の中で、「観光地ではベンチ等の施設がとても重要である。ベンチ等があることによって「おもてなし」が観光客にも伝わり観光地への理解も深まる。」などの指導を受けた。



飯盛山



会津武家屋敷



清水屋旅館跡

②意見交換会の内容（参加委員等の意見）

<志賀委員>

観光客のために何ができるかを考えることが重要である。年間300万人もの観光客が来ているのだから、出身地・性別・年齢等を分類・分析し、観光客に対してのきめ細かい戦略が必要となる。

<堀委員>

来年の戊辰戦争150周年は、新しいものを作り上げていくのではなく、今ある歴史資源をさらに磨き直すチャンスである。



意見交換会の様子